

第 87 回シンポジウム 表面処理技術研究部会成果報告

「化成処理を下地としたアルミニウム合金塗装材の評価」

本研究部会では、純アルミニウムへ微量の元素を添加した二元系合金及び実用合金相当の素材に化成処理、塗装したものを作製し、アルミニウムの素材、化成皮膜、塗装材に及ぼす影響を調査した。また、素材や表面処理材に対する新しい評価方法についても検討した。

そこで、本研究部会の活動で得られた成果について報告会を開催する。

主 催: 一般社団法人軽金属学会 研究委員会, 企画委員会

後 援: 公益財団法人軽金属奨学会

協 賛: 日本アルミニウム協会, 日本マグネシウム協会, 日本チタン協会, 日本金属学会, 日本鉄鋼協会, 日本材料学会, 日本機械学会, 日本塑性加工学会, 日本鋳造工学会, 日本自動車工業会, 軽金属製品協会, 自動車技術会, 日本ダイカスト協会, 腐食防食協会, 日本表面科学会, 表面技術協会

日 時: 平成 23 年 8 月 30 日(火)

会 場: ウィンクあいち (〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38, JR 名古屋駅桜通口から徒歩 5 分)

定 員: 50 名

参加費: 正・維持・協賛学協会員 15,000 円 学生 1,000 円 非会員 25,000 円

申込先: 軽金属学会ホームページ: <http://www.jilm.or.jp/> よりお申込下さい。

問合先: 一般社団法人軽金属学会

(〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 TEL:03-3538-0232 FAX:03-3538-0226)

プログラム

13:30-13:35	開会挨拶	
13:35-14:05	「微量元素を添加したアルミニウム合金の耐食性試験結果」 実験室で作製した Al-X(Si, Fe, Cu, Mg)の二元系合金, 実用合金相当の素材, 化成処理材, 塗装材の耐食性について報告する。	(財)日本ウエザリングテストセンター 紺野晃弘
14:05-14:35	「分極測定による評価」 実験室で作製した Al-X(Si, Fe, Cu, Mg)の二元系合金, 実用合金相当の素材, 化成処理材の電気化学的分極測定の結果について報告する。	名古屋大学 興戸正純
14:35-15:05	「化成処理材の表面分析結果」 化成処理材の EPMA による面分析結果および XPS による深さ方向分析結果について報告する。	三菱アルミニウム(株) 山口恵太郎
15:05-15:35	「素材の組織観察, 腐食試験後の断面観察」 作製した素材の組織と腐食試験後の断面観察から耐食性に及ぼす影響を報告する。	古河スカイ(株) 長谷川真一
15:35-15:50	休憩	
15:50-16:20	「アルミニウム合金素材の糸状腐食試験」 アルミニウム合金素材に糸状腐食を発生させる試験方法について検討した。また糸状腐食部の表面分析結果について報告する。	電化皮膜工業(株) 西中一仁
16:20-16:50	「腐食抵抗測定による自己修復皮膜の評価」 電気化学インピーダンス測定による自己修復皮膜の評価方法について紹介し, 研究部会で作製した塗装材の評価結果について報告する。	広島大学 矢吹章弘
16:50-17:20	「溶液フロー型セルによるアルミニウム表面の微小電気化学測定」 材料表面局部に微小な電気化学セルを形成する微小液滴セル法を改良した方法について紹介し, 研究部会で作製した素材の測定結果について報告する。	北海道大学 伏見公志

(世話人: 名古屋大学 興戸正純, (財)日本ウエザリングテストセンター 紺野晃弘, 住友軽金属工業(株) 伊藤清文)